

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	キャリアデザイン 1
科目基礎情報					
科目番号	0176		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	制御情報工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	学生のためのキャリア形成と就職成功へのステップ 鮎川 二郎 加賀 博 著 実教出版				
担当教員	攪上 平之介				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などの必要性を理解する。 ・社会人として、生きる喜びや誇りを実感し、知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践的な活動を 楽しむことを理解する。 ・社会人として、社会に対して有益な価値を提供するために存在し、社会の期待に十分応えられてこそ、存在の価値があることを理解する。 					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	自分の性格、長所短所を理解し、友人に上手に説明ができる。		自分の性格、長所短所を理解できる。		自分の性格、長所短所が理解できない。
評価項目2	自分の過去を振り返り、自分にできることできないことを知り、これからやりたいこと、やらなければいけないことに気付くことができる。		自分の過去を振り返り、自分にできることできないことを知り、これからやりたいこと、やらなければいけないことに気付くことができる。		自分の過去を振り返り、自分にできることできないことを知り、これからやりたいこと、やらなければいけないことに気付くことができない。
評価項目3	社会人としての一般常識や知識を身に着け、友人にアドバイスができる。		社会人としての一般常識や知識を身に着けることができる。		社会人としての一般常識や知識を身に着けることができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育目標 (B1) 教育目標 (B5)					
教育方法等					
概要	近い将来、社会人、技術者として、社会に貢献するために何ができるのか何をしたいのかに気付くためには、まず、自分を知らなければならない。自己を見つめ直すとともに、仲間の話に耳を傾け客観的に自分を知ることも必要である。自分を知ること、長所を伸ばし短所を改善できるよう心がけ、少しでも社会に貢献できる人間性豊かな社会人、技術者になることを目標に授業を行う。				
授業の進め方・方法	講義、グループミーティング、プレゼンテーションおよびチェックシートや小テストを実施しながら授業を進める。				
注意点	授業、グループミーティングには、積極的に参加すること。プレゼンテーションは慣れであるので、恥ずかしがらずに自信を持って発表すること。課題や提出物は、期限を守って必ず提出すること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	キャリアデザイン 1 について	授業の目的を理解する。	
		2週	自分の良い点悪い点を書き出し、自己分析をする。	自分を見つめ直す。	
		3週	グループミーティングを行い、仲間の良い点を見つけ出す。	仲間とコミュニケーションがとれる。	
		4週	自分の良い点、悪い点をまとめる。	自分の性格を知る。	
		5週	自分について、クラスメートの前で発表する。①	自分のプレゼンテーション力の足りない点を確認する。	
		6週	自分について、クラスメートの前で発表する。②	自分のプレゼンテーション力の足りない点を確認する。	
		7週	前期中間試験		
		8週	試験返却 体験分析①	過去の体験、経験から自分の強み弱みをし知る。	
	2ndQ	9週	体験分析②	過去の体験、経験から自分の強み弱みをし知る。	
		10週	体験分析グループミーティング①	仲間の強みを話し合い、自分の特徴を知る。	
		11週	体験分析グループミーティング②	仲間の強みを話し合い、自分の特徴を知る。	
		12週	体験分析をもとに、自分に合いそうな職業を発表する。①	将来の目標を考え始めるとともに、プレゼンテーション力を身に付ける。	
		13週	体験分析をもとに、自分に合いそうな職業を発表する。②	将来の目標を考え始めるとともに、プレゼンテーション力を身に付ける。	
		14週	体験分析のまとめ①	自分に適していそうな職業分野を考える。	
		15週	前期期末試験		
		16週	試験返却 体験分析のまとめ②	自分に適していそうな職業分野を考える。	
後期	3rdQ	1週	一般常識の確認 (国語) ①	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。四文字熟語等について、簡単なプレゼンテーションを行う。	
		2週	一般常識の確認 (国語) ②	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。四文字熟語等について、簡単なプレゼンテーションを行う。	
		3週	一般常識の確認 (国語) ③	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。四文字熟語等について、簡単なプレゼンテーションを行う。	
		4週	一般常識の確認 (数学) ①	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。	
		5週	一般常識の確認 (数学) ②	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。	

4thQ	6週	一般常識の確認（英語）①	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。
	7週	後期中間試験	
	8週	一般常識の確認（英語）②	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。
	9週	試験返却 一般常識の確認（社会）①	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。
	10週	一般常識の確認（社会）②	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。
	11週	一般常識の確認（科学）①	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。
	12週	一般常識の確認（科学）②	社会人としての基礎教育と知識の確認をする。
	13週	一般常識の確認（時事問題）①	新聞を読んだり、ニュースを見る習慣をつける。
	14週	一般常識の確認（時事問題）②	新聞を読んだり、ニュースを見る習慣をつける。
	15週	後期末試験	
16週	試験返却 簡単な履歴書を書いてみよう	自分のことを具体的に書き出す。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	20	10	10	30	0	100
基礎的能力	30	20	10	10	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0